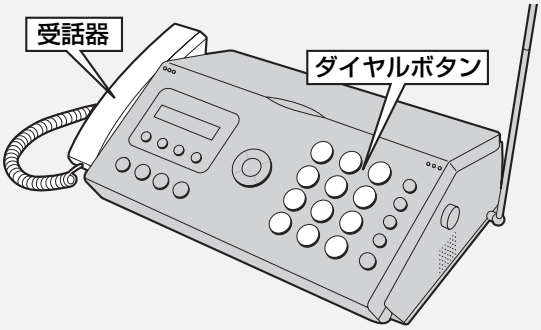
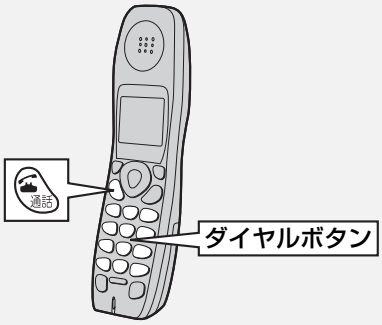
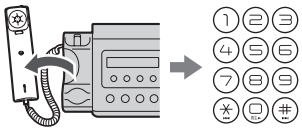
# 電話をかける・受ける・かけ直す



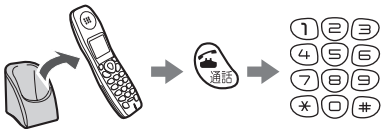

## 親機で電話をかける



ダイヤルする ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

・まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
・押したボタンの番号を音声でお知らせすることができます（「読上げボイスダイヤル」☞65ページ）。

## 子機で電話をかける



ダイヤルする ➡ 通話が終わったら充電器に戻す

・まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

### ■ 通話中にお待たせするときは（保留）

親機：内線/保留 を押してから受話器を戻す／再び通話するときは受話器を取る

子機：内線/クリア 保留 ／再び通話するときは 内線/クリア 保留 または 通話

### ■ 受話器を取らずに電話をかけるときは

親機：オンフック を押してからダイヤル／子機：オンフック 発信/# を押してからダイヤル

スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは、受話器または子機を取ってお話しください。

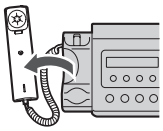
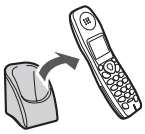
### ■ ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには

親機：トーン ＊ を押してからダイヤル／子機：トーン ＊ を押してからダイヤル

電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

**お知らせ**

●ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●親機でコピーやプリントをしているときは、子機で電話を受けることも、かけることもできません。また、着信音も鳴りません。

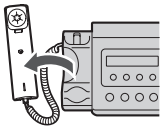
| 親機で電話を受ける | 子機で電話を受ける |
|---|---|
|  ➡ 通話が終わったら受話器を戻す |  ➡ 通話が終わったら充電器に戻す |

■ **着信音の大きさを変えるときは**

親機の着信音の大きさを変える ☞23ページ
子機の着信音の大きさを変える ☞24ページ

## 親機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、最後にかけた番号が１件記憶されます。

 ➡ 再ダイヤル ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

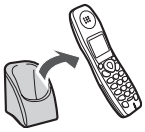
・親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
・まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**

再ダイヤル ➡ キャッチ/消去

## 子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが３件まで記憶されます。

 ➡ ➡ ➡ 選ぶ ➡ 通話 ➡ 通話が終わったら充電器に戻す

・子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

機能 ➡ [サイダイヤルクリア] ➡ 機能 (2回)

■ **子機の再ダイヤルの記憶を電話機に登録するときは**

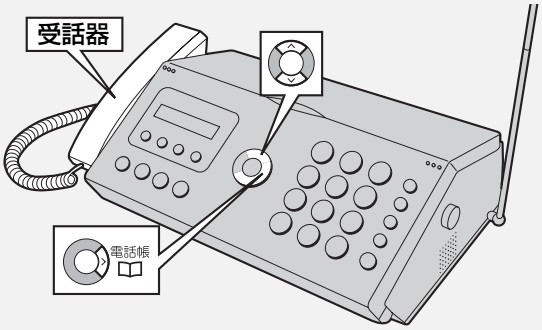
➡ 選ぶ ➡ 機能 ➡ 名前を入力（☞38～39ページ） ➡ 機能

**お知らせ**

●ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます（☞70ページ）。
●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
●子機の再ダイヤルの記録を、１件ずつ消去することはできません。

# 電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。
●電話帳登録　親機 ☞35ページ／子機 ☞37ページ




## 親機の電話帳でかける

➡ **通話が終わったら受話器を戻す**

・途中でやめるとき：相手先選択中 ➡ 停止 ／通話中 ➡ 受話器を戻す

■ **電話番号を非通知（184）／通知（186）にするときは**

受話器を取る ➡ 184（非通知）や186（通知）をダイヤル ➡ 電話帳 ➡ 選ぶ ➡ 決定
➡ 通話が終わったら受話器を戻す

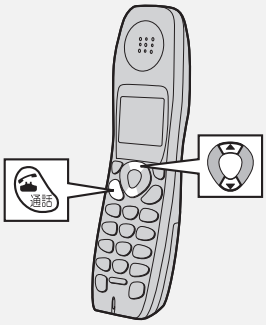
■ **電話帳から名前で検索して電話をかけるときは**

電話帳 ➡ 名前を入力(途中までででも可能) ➡ (目的の相手先が選ばれていないときは で選ぶ)
➡ 受話器を取る ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

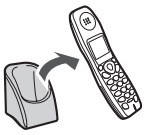
■ **33ケタ以上の番号をダイヤルするときは**

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

受話器を取る ➡ 電話帳 ➡ 選ぶ ➡ 決定 ➡ 電話帳 ➡ 次の番号を選ぶ ➡ 決定




## 子機の電話帳でかける



➡ 選ぶ ➡ 通話 ➡ 通話が終わったら充電器に戻す

・途中でやめるとき：切

### ■ 17ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

最初の番号を選ぶ ➡ 通話 ➡ ➡ 次の番号を選ぶ ➡ 通話

### ■ 電話帳から相手先を検索して電話をかけるときは

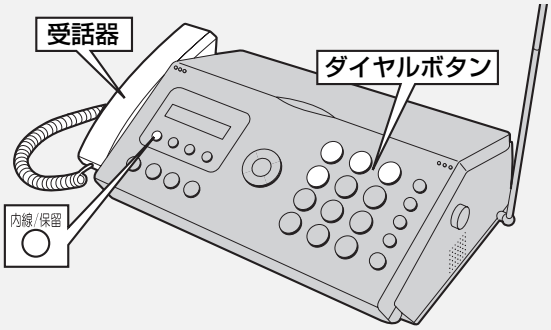
□ ➡ 「名前」の頭文字を入力 ➡ （目的の相手先が選ばれていないとき で選ぶ）

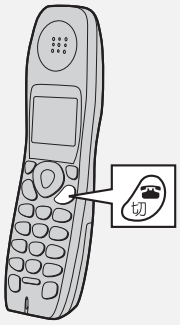
➡ 通話 ➡ 通話が終わったら充電器に戻す

**お知らせ**

●電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字（0～9）→英字（A～Z）→カナ（50音順）
●親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

# 親機と子機の間でお話しする（内線通話）




## 親機から子機を呼び出してお話しする

親 機 ➡ 内線/保留 ➡ ①～④（転送する子機の内線番号） ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

子 機　着信音が鳴ったら ➡ 通話が終わったら 切 または充電器に戻す

・子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
・登録されているすべての子機を呼び出すとき：受話器を取って 内線/保留 ➡ トーン ＊

■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

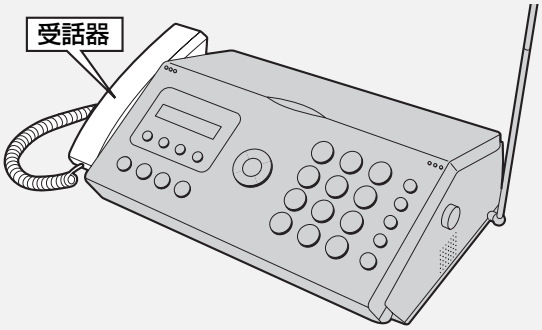
親機のスピーカーや子機の受話口からそれぞれに着信音が聞こえます。

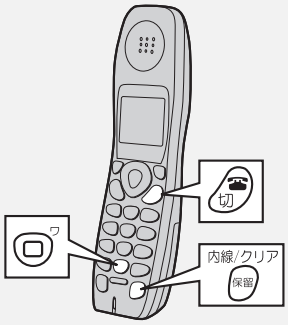
**親機で話すには**

受話器を戻す ➡ 受話器を取る

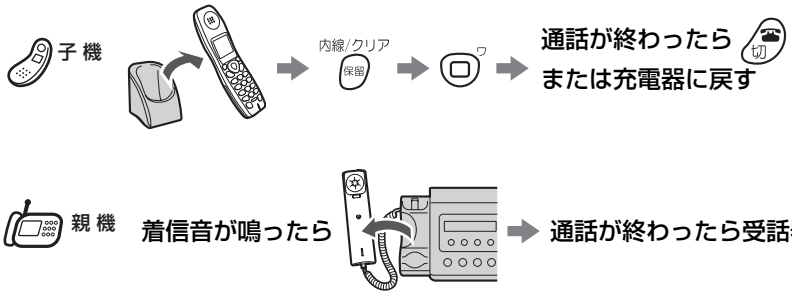
**子機で話すには**

切 ➡ 子機の着信音が鳴ったら 通話



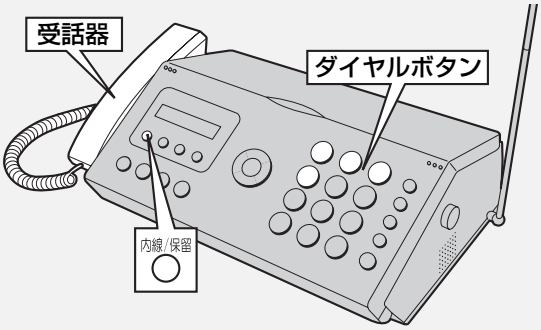

## 子機から親機を呼び出してお話しする

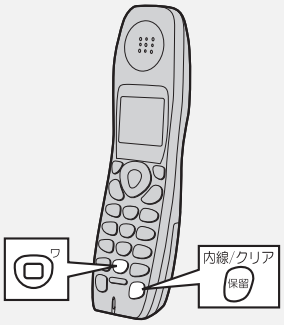



### お知らせ

- 内線通話では、保留はできません。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は 「小」の大きさで鳴ります。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。

# 電話をとりつぐ（とりつぎ転送）




## 親機から子機へ電話をとりつぐ

親機　通話中に 内線/保留 ➡ 1 ～ 4（子機の内線番号）➡ 電話をとりつぐことを伝えて受話器に戻す

子機　着信音が鳴ったら充電器から取る

- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- 続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- 増設されているすべての子機を呼び出すとき：内線/保留 ➡ ＊
- 呼出中に親機で外線通話に戻るとき：内線/保留（2回）、または受話器を一度戻してから取り上げる

## 子機から親機へ電話をとりつぐ

子機　通話中に 内線/クリア 保留 ➡ ➡ 電話をとりつぐことを伝えて充電器に戻す

親機　着信音が鳴ったら受話器を取る

呼出中に外線通話に戻るとき：内線/クリア 保留（2回）、または 内線/クリア 保留 通話

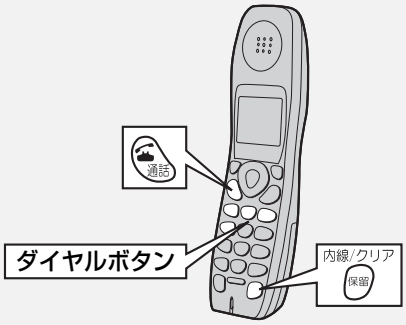
### ■ 電話を自分ひとりでとりつぐときは（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、複数の子機をお使いのときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

**親機から子機へ**：親機で通話中に 内線/保留 ➡ 受話器を戻す ➡ 子機を充電器から取って 通話

**子機から親機へ**：子機で通話中に 内線/クリア 保留 ➡ 充電器に戻す ➡ 親機の受話器を取る

**子機から他の子機へ**：子機で通話中に 内線/クリア 保留 ➡ 充電器に戻す ➡ 他の子機を充電器から取って 通話




## ひと声転送を使う

複数の子機をお使いのときは、メッセージを伝えて他の子機へ転送する（ひと声転送）ことができます。

子機　通話中に 内線/クリア 保留 ➡ 1 ～ 4（子機の内線番号）➡ メッセージを伝える（10秒以内）➡ 充電器に戻す

呼び出された子機　着信音が鳴ったら充電器から取る ➡ メッセージが聞こえる ➡ 通話 または 内線/クリア 保留

・呼出中に外線通話に戻るとき：内線/クリア 保留（2回）、または 内線/クリア 保留 通話

## ひと声通知を使う

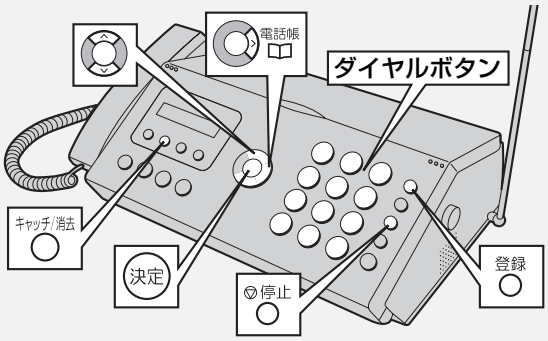
複数の子機をお使いのときは、子機から子機へ一方通行でメッセージを伝えることができます。

子機　充電器から取る ➡ 内線/クリア 保留 ➡ 1 ～ 4（子機の内線番号）➡ メッセージを伝える（10秒以内）➡ 充電器に戻す

呼び出された子機　着信音が鳴ったら充電器から取る ➡ メッセージが聞こえる ➡ 充電器に戻す

# 電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。




## 親機の電話帳に登録する

登録 ➡ 7 1 ➡ **名前を入力（最大20文字）** ➡ 決定 ➡ **番号を入力（最大32ケタ）** ➡ 決定 ➡ 停止

- 途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去
- 文字の入力方法：☞38～39ページ
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示（☞70ページ）や着信鳴り分け（☞73ページ）をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。
- 名前の入力を省略するとき：修正せずにそのまま 決定
  名前を入力しないで登録すると、名前が表示されるところに電話番号が表示されます。
- 電話帳 ➡ 登録 と押して、電話帳の登録画面を表示することもできます。

## 親機の電話帳を修正する

電話帳 ➡ **選ぶ** ➡ 登録 ➡ **名前を修正** ➡ 決定 ➡ **番号を修正** ➡ 決定 ➡ 停止

- 途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去
- 修正しない項目：修正せずにそのまま 決定

## 親機の電話帳を消去する

電話帳 ➡ **選ぶ** ➡ キャッチ/消去 **(2回)** ➡ 停止

- 途中でやめるとき：停止

■ 登録した内容を確認するときは

電話帳 ➡ 選ぶ ➡ 確認したら 停止

■ 親機の電話帳の内容をプリントするときは

登録 ➡ 9 2 2 または 電話帳 ➡ コピー/印刷

■ 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞40ページ）

■ ポーズについて

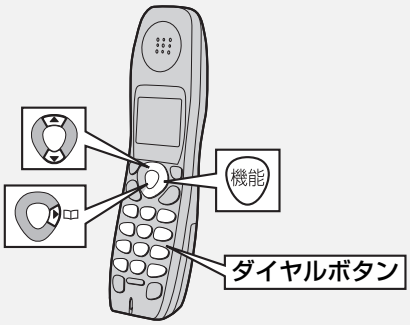
- 電話番号の入力時に 再ダイヤル を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
  それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- 子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー･ディスプレイを利用していても番号が表示されません。
- ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。

■ 親機の電話帳をすべて消去するときは（☞95ページ）

**お知らせ**

- 親機や子機の電話帳には、あらかじめ [≫ジホウ 117]、[≫テンキヨホウ 177]、[≫バンゴウアンナイ 104] の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。
- 市外局番の前に「184」、「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の電話帳の名前表示や着信鳴り分けが働かなくなります。
- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞72ページ）。

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。




## 子機の電話帳に登録する

**名前を入力（最大12文字）** ➡ 機能 ➡ **番号を入力（最大16ケタ）** ➡ 機能

- 途中でやめるとき：切
- 文字の入力方法：☞38～39ページ
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示（☞70ページ）や着信鳴り分け（☞73ページ）をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。
- 名前の入力を省略するとき：何も入力せずに 機能
  名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。

## 子機の電話帳の番号を修正する

**選ぶ** ➡ 機能 **(2回)** ➡ 内線/クリア 保留 **で消して、あらためて番号を入力する** ➡ 機能

- 途中でやめるとき：切

## 子機の電話帳を消去する

**選ぶ** ➡ 機能 ➡ **[ショウキョ ]** ➡ 機能 **(2回)**

- 途中でやめるとき：切

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞40ページ）**

■ **ポーズについて**

- 電話番号の入力時に を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
- ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
  それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

**お知らせ**

- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞70ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞73ページ）は、必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示や着信鳴り分けが働かなくなります。
- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞72ページ）。
- 名前をまちがえて登録したときは、電話帳から消去したあと、あらためて登録してください。

# 文字を入力する

入力モードを切り替えることによって、カタカナ、英字、数字が入力できます。
文字の入力は、ダイヤルボタンで行います。
●親機や子機で入力できる文字：☞39ページ

## 文字入力のしかた

### 入力モードを選ぶ

親機：画質/カナ

[カナ] カタカナ → [ABC] 英字 → [123] 数字

子機：カナ/キャッチ

[カナ] カタカナ → [英] 英字 → 表示なし 数字

**➡ ダイヤルボタンで文字を入力**

・ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では１ボタンにつき１文字）。
例：[カナ]モードの 1（親機）／ 1（子機）の場合　ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ

・「イエ」のように、同じ文字に割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、（親機）／（子機）を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

**（入力例）**

| | 親機 | | | | 子機 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | イ | ケ | ダ | | イ | ケ | ダ | |
| [カナ] | 1（２回） | 2（４回） | 4（１回） | ＊（１回） | [カナ] | 1（２回） | 2（４回） | 4（１回） | オンフック（１回） |
| | C | | A | T | | C | | A | T |
| [ABC] | 2（３回） | | 2（１回） | 8（１回） | [英] | 2（３回） | | 2（１回） | 8（１回） |
| | 1 | 2 | 3 | | | 1 | 2 | 3 | |
| [123] | 1 | 2 | 3 | | 表示なし | 1 | 2 | 3 | |

■ **文字を消すには**

親機：キャッチ/消去（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）
※すべての文字を一度に消すことはできません。
子機：内線/クリア 保留（カーソルの合っている文字を消去／２秒以上押し続けると、すべての文字を消去）

■ **文字を入れ直すには**

訂正したい文字を消去してから、あらためて入力してください。

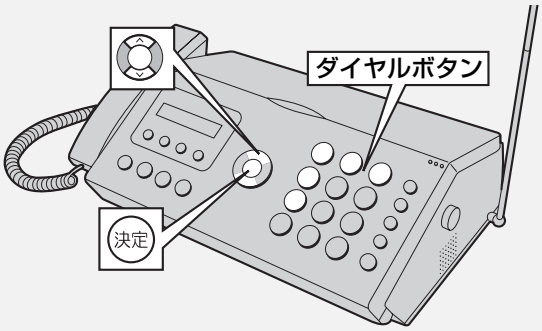
| 文字入力一覧表（親機） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入力モード<br>ボタン | カタカナ<br>[カナ] | 英字※<br>[英] | 数字<br>[数] | 入力モード<br>ボタン | カタカナ<br>[カナ] | 英字※<br>[英] | 数字<br>[数] |
| 1 ア | アイウエオ<br>ァィゥェォ | @ . ／ - _ | 1 | 9 ラ | ラリルレロ | WXYZ | 9 |
| 2 カ | カキクケコ | ABC | 2 | 0 ワ 再生 | ワオン⊟<br>□（スペース） | , ： ！？&<br>／ ( ) [ ]<br>□（スペース） | 0 |
| 3 サ | サシスセソ | DEF | 3 | トーン ＊ ゛゜ | 濁点/半濁点 | 無効 | ＊ |
| 4 タ | タチツテトッ | GHI | 4 | # | 無効 | | # |
| 5 ナ | ナニヌネノ | JKL | 5 | ◇ | カーソル左右移動 | | |
| 6 ハ | ハヒフヘホ | MNO | 6 | キャッチ/消去 | 1文字消去 | | |
| 7 マ | マミムメモ | PQRS | 7 | 画質/カナ | 文字の種類の切り替え | | |
| 8 ヤ | ヤユヨャュョ | TUV | 8 | | | | |

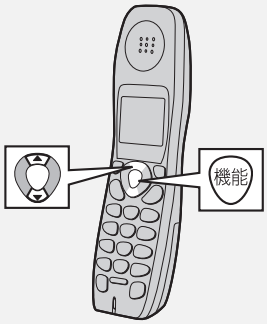
※：英字の小文字は入力できません。

| 文字入力一覧表（子機） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入力モード<br>ボタン | カタカナ<br>[カナ] | 英字<br>[英] | 数字<br>（表示なし） | 入力モード<br>ボタン | カタカナ<br>[カナ] | 英字<br>[英] | 数字<br>（表示なし） |
| 1 ア | アイウエオ<br>ァィゥェォ | 無効 | 1 | 9 ラ | ラリルレロ | WXYZ<br>wxyz | 9 |
| 2 カ | カキクケコ | ABC<br>abc | 2 | 0 ワ | ワオン⊟<br>□（スペース） | ⊟ □（スペース）<br>／[ ]：，．！<br>( ) &？@ | 0 |
| 3 サ | サシスセソ | DEF<br>def | 3 | トーン ＊ | 無効 | | ＊ |
| 4 タ | タチツテトッ | GHI<br>ghi | 4 | # | 無効 | | # |
| 5 ナ | ナニヌネノ | JKL<br>jkl | 5 | オンフック 発信/゛゜ | 濁点/半濁点 | 無効 | |
| 6 ハ | ハヒフヘホ | MNO<br>mno | 6 | ◇ | カーソル左右移動 | | |
| 7 マ | マミムメモ | PQRS<br>pqrs | 7 | 内線/クリア 保留 | 1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去） | | |
| 8 ヤ | ヤユヨ<br>ャュョ | TUV<br>tuv | 8 | カナ/キャッチ | 文字の種類の切り替え | | |

# 親機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。






## 親機の電話帳を子機に転送する

登録 ➡ 7 2 ➡ すべて転送するとき：1 / 1件ずつ転送するとき：2 ➡ 決定 で選んで ➡ 1 ～ 4 （転送する子機の内線番号）

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

■ [テンソウデキナイデータアリ] と表示されたときは

この表示は親機に17ケタ以上（増設子機をお使いのときは、機種により異なります）の番号で登録しているときに表示されます。

決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

## 子機の電話帳をすべて親機に転送する

機能 ➡ [デンワチョウテンソウ] ➡ 機能

・途中でやめるとき：切

・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。

## 子機の電話帳を1件ずつ親機に転送する

選ぶ ➡ 機能 ➡ [デンワチョウテンソウ] ➡ 機能

・途中でやめるとき：切

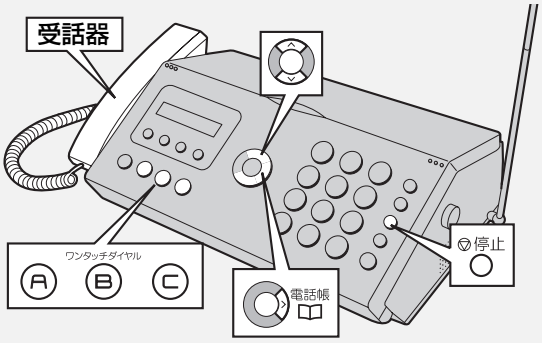
・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。

### お知らせ

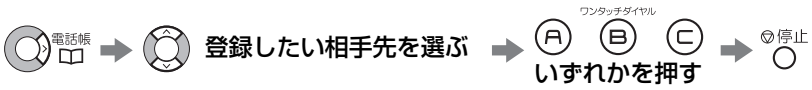
●親機から子機へ、12文字以上の名前で登録している相手先を転送すると、名前は12文字までしか転送されません。
●子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
●転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
●名前の先頭が”》”ではじまっている電話番号（天気予報、時報、番号案内）は、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
●転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。
●転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。また、子機から他の子機へ転送することはできません。

# ワンタッチダイヤルを使う

よく電話をかける相手の方を、電話帳からワンタッチダイヤル（親機3件／子機1件）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチダイヤルに登録したい相手先は、あらかじめ電話帳に登録（☞35、37ページ）しておいてください。




## 親機のワンタッチダイヤルに番号を登録する



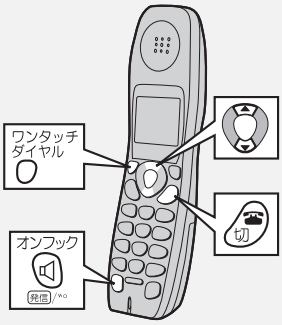

## 親機のワンタッチダイヤルで電話をかける

■ **親機のワンタッチダイヤルの登録を変更するときは**

同じワンタッチダイヤルボタンに、別の番号をあらためて登録してください。

■ **親機のワンタッチダイヤルの登録を消すときは**

消去したいワンタッチダイヤルボタンを、2秒ほど押し続けると消去できます。電話帳に登録されている元の番号は消去されません。




## 子機のワンタッチダイヤルに番号を登録する

登録したい相手先を選ぶ ➡ ワンタッチダイヤル ➡ 切

## 子機のワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤル ➡ 相手の方が電話に出たら オンフック ➡ 通話が終わったら 切

### ■ 子機のワンタッチダイヤルの登録を変更するときは

あらためて番号を登録してください。先に登録されていた内容は消去されます。

### ■ 子機のワンタッチダイヤルの登録を消すときは

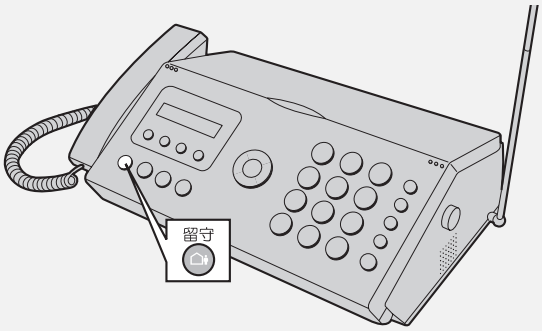
ワンタッチダイヤル （「ピー」と鳴るまで押す）

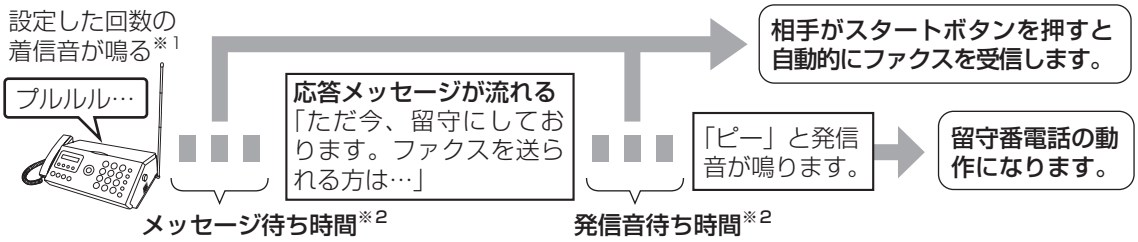
**お知らせ**

- 親機、子機ともに、ワンタッチダイヤルに登録した元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。
- ワンタッチダイヤルの登録は、それぞれの子機に１つです。

# 留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」☞96ページ）。すべての録音を合わせて、最大約12分間または、30件までです。




※１ 着信音の回数は変更できます（☞下記）。お買いあげ時の回数は「４回」です。

●メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。

※２ メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（☞96ページ）。お買い上げ時の設定は [4 ビョウ] です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

## 留守に設定する

留守

・固定応答メッセージが流れ、[ルスセッテイ] と表示されます。
・録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

■ **固定応答メッセージについて（☞102ページ）**

■ **自分で応答メッセージ（オリジナルメッセージ）を録音するときは（☞47ページ）**

■ **応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

登録 ➡ 2 2 3 2 ➡ コール回数を入力（01回～25回）➡ 決定 ➡ 停止

■ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（「お声拝聴」 ☞96ページ）**

■ **留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは**

登録 ➡ 2 2 3 1 ➡ 停止

[トール セーバー] に設定しておくと、外出先から電話をかけたとき、応答メッセージが流れるまでの着信音の回数で、新しい用件が入っているかを確認できます。３回目の着信音が鳴った場合はメッセージが録音されていませんので、そのまま電話を切れば通話料はかかりません。

**メッセージがあるとき：着信音２回で着信／メッセージがないとき：着信音５回で着信**

## 留守設定を解除する

**留守設定時に** 留守

・留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、液晶ディスプレイのバックライトが点滅しています。
・留守を解除すると、留守設定以後の録音を再生します（ない場合は再生しません）。

### ■ 液晶ディスプレイのバックライトが点滅しているときは

未再生の録音（メモ録音や通話録音も含む）または受信FAXがあります。

### ■ 親機のディスプレイに [ミサイセイ ロクオンガアリマス] と表示しているときは

未再生の録音（メモ録音や通話録音も含む）があります。約３秒以上再生すると再生済みになります。
まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生する」（☞45ページ）の操作をします。

### ■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには（☞45ページ）

### ■ 再生中の操作について（☞46ページ）

### ■ 親機のディスプレイに [ジュシンFAX ガ アリマス] と表示しているときは

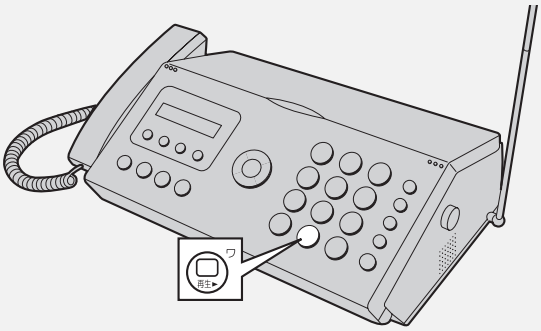
送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データをプリントまたは消去（☞58ページ）すると、[ジュシンFAX ガ アリマス] の表示が消えます。

**お知らせ**

●相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。
●録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください（☞46ページ）。
●留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。
●[ロクオンデータ ホゾン中] と表示しているときは、録音した内容をメモリーに保存しています。このときは電話の着信以外の操作はできません。また、このときの親機の着信音は [デンワベルオン] になります。子機の着信音は鳴りません。
●応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。
●録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー残量が少なくなると、あらたに録音やファクス受信ができなくなりますので、不要な用件は消去してください。

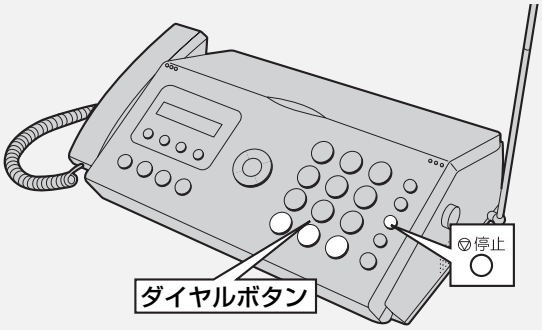
# 録音されている内容を再生する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生できます。



| 親機で録音内容を再生する | 子機で録音内容を再生する |
|---|---|
| 再生▶ ワ | 機能 (2回) |

- 録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
  留守設定にしていないと、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- 録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。
- 録音内容を再生しても、留守設定は解除されません。



| 再生中にできる操作について | |
|---|---|
| **再生を途中でやめる** | **次の録音にとばす** |
| 再生中に 停止（親機） 切（子機） | 再生中に #（親機） 6（子機） |
| **早聞きや遅聞きをする（親機）** | **早聞きをする（子機）** |
| 再生中に 再生▶ ・押すたびに、再生の早さが「早い」→「遅い」→「もとの早さ」→「早い」…と切り替わります。 | 再生中に 9 ・押すたびに、再生の早さが「早い」→「もとの早さ」→「早い」…と切り替わります。 |
| **再生中の録音を聞き直す** | **1つ前の録音に戻す** |
| 再生中に ＊（親機） 5（子機） | 再生中に ＊（親機） 5（子機） を2回続けて押す ・聞きたい録音まで戻すときは、＊ または 5 を繰り返し押します（1回押すごとに1つ戻ります）。 |

■ **録音を1件消去するには（親機）**

消したい録音を再生中に キャッチ/消去 (2回)

■ **録音をすべて消去するには（親機）**

キャッチ/消去 ➡ 1 2

■ **親機の録音メモリーの残量を確認するには（FAX/録音メモリー残量表示）**

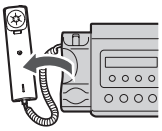
登録 ➡ 8 5 ➡ 確認したら 停止

**お知らせ**

- 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。
- 子機で録音を消去することはできません。
- 録音と受信FAXは同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音メッセージを消去する、または受信FAXをプリントするなどしてください。

# 自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます（オリジナルメッセージ）。録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

登録 ➡ 3 1 ➡  ➡ 決定 ➡ **受話器で応答メッセージを録音する** ➡ **録音が終わったら** 停止

➡ **受話器を戻す**

・途中でやめるとき：停止

・応答メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

### ■ 応答メッセージの内容を変えるときは

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

### ■ 応答メッセージの内容を聞くときは

登録 ➡ 3 3

オリジナルメッセージが再生されます。

### ■ 応答メッセージを消すときは

登録 ➡ 3 2 2

**お知らせ**

●応答メッセージを録音すると、留守設定時には録音したオリジナルメッセージが流れます。固定応答メッセージに戻したいときは、録音した応答メッセージを消してください。

●応答メッセージを録音していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります（☞102ページ）。記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。

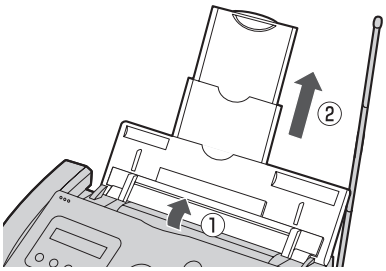
●画面に［メモリー　フソク］または［メモリー ガ イッパイデス］と表示されているときは録音できません。不要な録音メッセージなどを消去してください（☞46ページ）。

# ファクスを送る

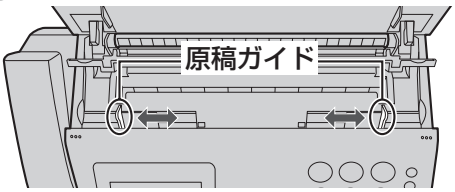
## 親機でお話してからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。

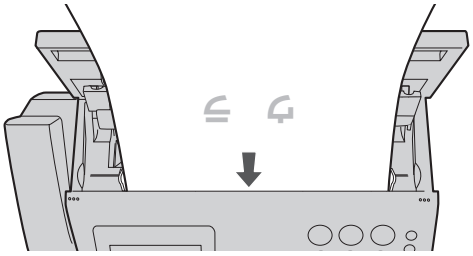
❶




❷




❸



**原稿は<u>ウラ</u>向きに！**
**コピーや送信する面を下にして**
**セットする（一度に５枚まで）**

原稿が自動的に少し引き込み始めたら、
手を離してください。

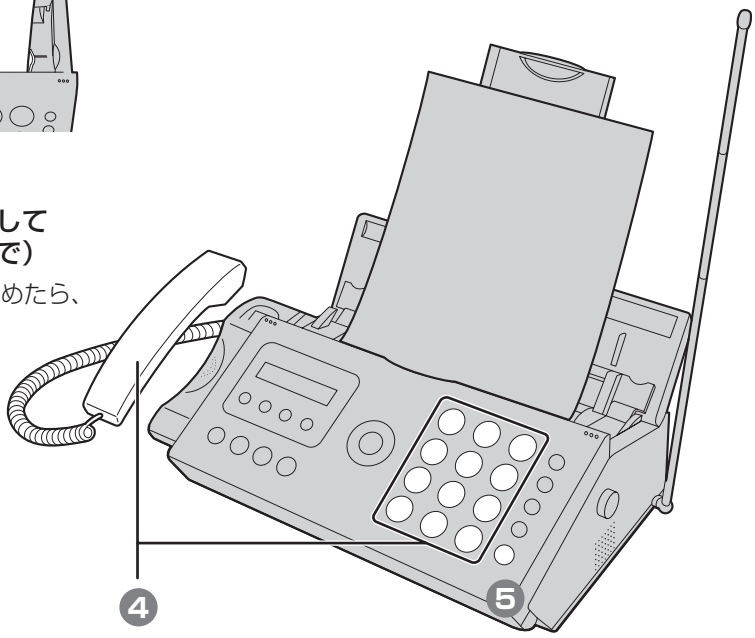
❶ **記録紙トレイを開け、延長トレイを引き出す**

❷ **原稿ガイドを原稿の幅に合わせる**

❸ **原稿をセットする**
原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます（☞50ページ）。

❹ **受話器を取ってダイヤルする**

❺ **電話がつながったら、FAXスタート を押して受話器を戻す**




- 途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す／ 送信中は 停止 （原稿が詰まった状態になります）
- ６枚以上の原稿があるとき：一度にセットできるのは５枚までです。読み取りが終わったら、その分の枚数を、セットされている原稿の一番上に追加してください。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（「おまかせ送信とは」 ☞49ページ）。

| 親機でお話ししないでファクスを送る |
|---|
| 相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。 |
| 原稿をセットする（☞48ページ ❶ ～ ❸ ） ➡ オンフック ➡ 「ツー」という音が聞こえたらダイヤルする ➡ 電話がつながったら（送信が始まる） FAXスタート |

・途中でやめるとき：送信前は オンフック ／ 送信中は 停止 （原稿が詰まった状態になります）

■ **子機でファクスを送るときは**

親機に原稿をセットしておくと、子機で電話をかけたあと、通話中に 機能 を押してファクスを送ることができます。

■ **原稿を取り出すときは**

一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く ➡ 登録 ➡ 再ダイヤル（原稿が排出される）

排出されないときは、「原稿が詰まったときは」（☞82ページ）

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞89ページ）**

■ **海外へファクスを送るときは**

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは（☞65ページ）**

■ **おまかせ送信とは**

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

※ お使いの環境などによっては、おまかせ送信が働かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは FAXスタート 、子機をお使いのときは 機能 を押して送信してください。

**お知らせ**

- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- 本機では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど［オウトウ ガ アリマセン］と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞48ページ）の方法で送信してください。
- 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」という音が聞こえます。

| コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ |
|---|
| 原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。 |
| **原稿をセットした状態で** 画質/カナ ○ → [フツウジ]→[チイサナジ]→[セイサイ]→[シャシン] → [シャシン：コク]←[セイサイ：コク]←[チイサナジ：コク]←[フツウジ：コク] |

- 押すごとに画質・濃度が変わります。
- 画質を選ばなかった場合は、ファクス送信のときは [フツウジ]、コピーのときは [チイサナジ] に設定されます。

■ **選べる画質・濃度について**

**[フツウジ] [フツウジ：コク]**
文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

**[チイサナジ] [チイサナジ：コク]**
[フツウジ] の２倍の密度で読み取ります。文字が小さな字のときに選びます。
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

**[セイサイ] [セイサイ：コク]**
[フツウジ] の４倍の密度で読み取ります。細い線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。
受信側に [セイサイ] がないときは、自動的に [チイサナジ] に切り替わります。

**[シャシン] [シャシン：コク]**
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

※原稿の文字などが薄いときは、各画質の [：コク] を選びます。

## 使用できる原稿

### ■ セットできる原稿のサイズ

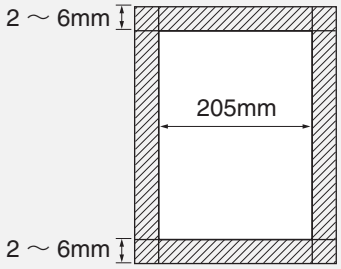
幅 148mm ～ 210mm ／ 長さ 128mm ～ 500mm ／ 厚さ 0.06mm ～ 0.18mm

●厚さの目安　新聞紙：約0.05～0.06mm　上質紙：約0.10mm　官製はがき：約0.23mm

### ■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。
原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

●最大読み取り幅
205mm
●最大読み取り長
送信原稿長(128～500mm)から上下とも2～6mmを引いた長さ




### ■ 一度に２枚以上セットできない原稿

●長さ297mmを超える原稿
●厚さ0.12mm（90kg用紙…四六判の用紙1000枚の重量）を超える原稿
●厚さや大きさの異なる原稿

### ■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。
●サイズが規定より小さすぎるもの（写真など）
●フィルム状のもの、透明のもの
●紙の厚さが薄すぎるもの
●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
●裏カーボン紙、感熱紙など
●コーティングされているもの

**お知らせ**

●クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
●糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。汚れたときは80、81ページをご覧のうえ、清掃してください。

# 電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

電話帳やワンタッチダイヤルにファクス番号を登録（☞35、41ページ）しておくと、かんたんな操作でファクスを送ることができます。
また、相手の方がお話し中などでファクスを送り直すときは、再ダイヤルボタンを使ってかんたんにファクスを送ることができます。

**電話帳でファクスを送る**

原稿をセットする（☞48ページ 1 ～ 3） ➡ 電話帳 ➡ 選ぶ ➡ FAXスタート（送信が始まる）

**ワンタッチダイヤルでファクスを送る**

原稿をセットする（☞48ページ 1 ～ 3） ➡ ワンタッチダイヤル A B C いずれかを押す（送信が始まる）

**再ダイヤルでファクスを送る**

原稿をセットする（☞48ページ 1 ～ 3） ➡ 再ダイヤル ➡ FAXスタート（送信が始まる）

- 途中でやめるとき：停止
- 画質を選ぶとき：画質/カナ（画質/カナ を押さなかったときは、自動的に [フツウジ] で送信）
- 原稿をセットしたあと受話器を取っても、上記の操作でファクスを送ることができます。送信後は受話器を戻してください。

■「通信エラーがありました」と聞こえたら（☞89ページ）

■ 原稿が詰まったときは（☞82ページ）

■ 電話帳から名前で検索してファクスを送るときは

原稿をセットする（☞48ページ 1 ～ 3） ➡ 電話帳 ➡ 名前を入力（途中までででも可能） ➡ （目的の相手先が選ばれていないときは で選ぶ） ➡ FAXスタート

**お知らせ**

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります（必要に応じて相手の方に確認してください）。
- 自動送信がうまくいかないときは、「発信音検出」（☞97ページ）の設定を [ナシ] にするか、受話器を取って送信してください。
- 本機では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。

# ファクスの受けかた

| | |
|---|---|
| 電話に出てから<br>ファクスを受ける<br>(☞55ページ) | プルルル…<br>着信音が鳴り続ける<br>（着信音の回数：無制限）<br>相手がファクスのとき<br>FAXスタート を押して受信します。<br>相手が電話のとき<br>引き続きお話しします。 |
| 電話に出ないで<br>ファクスを受ける<br><br>設定が必要です<br>(☞56ページ)。 | プルルル…<br>設定した回数の<br>着信音が鳴る<br>「ただ今近くに<br>おりません…」<br>相手がファクスのとき<br>自動的に受信します。<br>相手が電話のとき<br>メッセージが流れている<br>間に受話器を取ると通話<br>できます。 |

■ **FAX優先、またはFAX専用にするには（☞57ページ）**

**FAX優先：**

相手がファクスのときは、着信音を鳴らさず、自動的に受信します。
相手が電話のときは、着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。

**FAX専用：**

相手がファクスのときのみ、自動的に受信します。
※電話を受けることはできません。

## ファクスを受信したときのプリントのしかた

ファクスを受信したときのプリントのしかたは、[メモリージュシン] または [キロクシジュシン] の２通りです。お買いあげ時は、**[メモリージュシン]** に設定されています。
変更するときは「FAX受信方法」（☞65ページ）で設定します。

| | | |
|---|---|---|
| **メモリージュシン** | ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙にプリントします（あらかじめ記録紙をセットしている場合）。<br>記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます（※）。 | メモリーがいっぱいになると受信できません。 |
| **キロクシジュシン（常に記録紙をセット）** | ファクスを自動的に記録紙へプリントします（あらかじめ記録紙をセットしている場合）。<br>メモリーの量にかかわらずファクスを受信することができます。 | 記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。<br>メモリー受信したものに比べて、横方向に筋が入るなど、少し画質が劣ることがあります。 |

**メモリー受信とは**

送られてきたファクスを直接記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

### ■ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を [フツウジ] で約40枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります（最大でも約60枚または30件までです）。受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

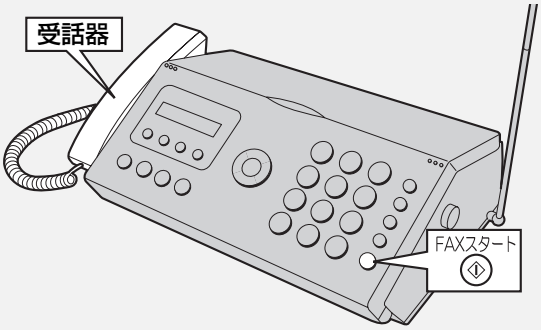
### ■ メモリーがいっぱいになったときは

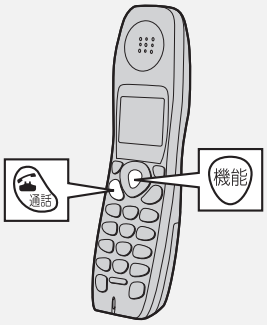
受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（ [ツウシンエラー（１～１５）ガ アリマシタ] と表示されます）。メモリー受信した内容をプリントしたり、不要な録音メッセージを消去してください。
また、「FAX受信方法」（☞65ページ）の操作で [キロクシジュシン] に設定しておくと、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

**お知らせ**

●ファクスをプリントするときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは「縮小受信」（☞97ページ）の設定を [ナシ] にします。ただし、[ナシ] に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に１対１にならない場合があります。

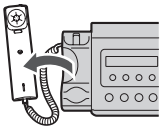
# 電話に出てからファクスを受ける




## 親機で電話に出てからファクスを受ける

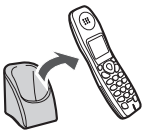
相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。
お買い上げ時は、電話に出るまで呼び出しを続ける設定になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。

**着信音が鳴ったら**  ➡ **通話中に（受信が始まる）** FAXスタート ➡ **受話器を戻す**

- 受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります（☞下記「おまかせ受信について」）。
- 原稿がセットされているときに FAXスタート を押すと送信になります。

## 子機で電話に出てからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

**着信音が鳴ったら**  ➡ 機能 ➡ **充電器に戻す**

### ■ おまかせ受信について

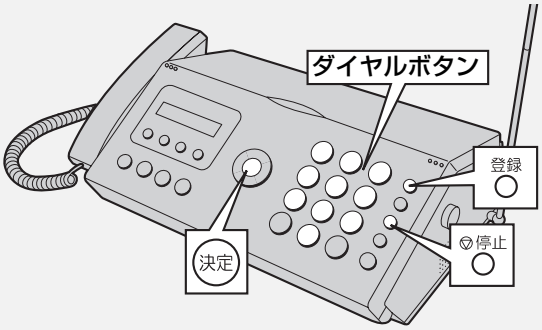
おまかせ受信とは、電話を受けたときに「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】※」とメッセージを流して自動的にファクスを受信する機能です。
解除するときは96ページをご覧ください。
※【　】内は受話器を取っているときのみ。

- こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。
- おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら 決定（子機のときは 機能 ）を押してください。

**お知らせ**

- キャッチホンをご利用のときは、通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- プリント中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたときは、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを確認してから、親機のFAXスタートボタン、または子機の機能ボタンを押してください。

# 電話に出ないで自動的にファクスを受ける




## 着信音の回数を設定し、親機で電話に出ないでファクスを受ける

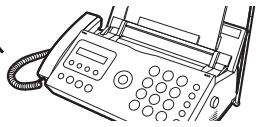
着信音の回数を設定すると、設定した回数の着信音が鳴ったあと、自動的にファクスを受けることができます。お買いあげ時は [ムセイゲン]（着信音が鳴り続ける設定）になっています。

登録 ➡ 2 2 2 1 ➡ **着信音の回数を入力（01～25回）** **例：6回** 6 ➡ 決定 ➡ 停止

回数を設定しておくと、下記のようにファクスを自動受信します。

**着信音が鳴る** ➡ ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。

**設定した回数の着信音が鳴り終わると自動的に応答メッセージが流れる**



➡ **「ポー・ポー…」という音を検出するとファクスを受信する**

・着信音が鳴っている間や、応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

■ **[ムセイゲン] になっているときは**

着信音が鳴り続けます。

着信音の回数を設定したあとで、[ムセイゲン] に戻すとき：登録 ➡ 2 2 2 2 ➡ 停止

■ **インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは**

着信音が鳴り続けます。

**お知らせ**

●着信音の回数を１回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。
●着信音の回数を７回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を６回以下に設定してください。
●相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、スタートボタンを押さなかった場合は、自動的に受信できません。こんなときは受話器を取ってから、FAXスタートボタンを押して受信してください。

■ FAX優先またはFAX専用にする（着信音を鳴らさずに受ける）には

**FAX優先：**

いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断します。
ファクスを受信することが多い方におすすめの機能です。電話の場合は、こちらが不在でも相手側では2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。そのため、電話を受けることが多い方にはおすすめできません。
FAX優先に設定すると、ディスプレイに [FAXユウセン] と表示されます（留守設定時は表示されません）。

登録 ➡ #（4回）➡ 2 4 1 ➡ 着信音の回数を入力（04～25回）➡ 決定 ➡ 停止

**FAX専用：**

着信したときに、着信音を鳴らさずに自動でファクス受信に切り替わります。
FAX専用に設定すると、ディスプレイに [FAXセンヨウ] と表示されます（留守設定時は表示されません）。

登録 ➡ #（4回）➡ 2 4 2 ➡ 停止

※ファクス受信後の終了音は鳴ります。鳴らしたくない場合は、終了音を [ナシ] に設定しておいてください（☞65ページ）。
※FAX専用に設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話しできます。

**設定しない（解除する）：**

FAX優先またはFAX専用に設定したあと、解除するときに操作します。

登録 ➡ #（4回）➡ 2 4 3 ➡ 停止

**お知らせ**

●限定着信機能（☞76～77ページ）を設定しているときに、FAX優先またはFAX専用に設定すると、限定着信機能は解除されます。

# メモリー受信したファクスをプリント／消去する

| プリントする |
|---|
| 受信時に記録紙をセットしていなかったときは、ファクスはメモリーに受信され、後からプリントすることができます。<br>メモリー受信したファクスがあるときは、ディスプレイに [ジュシンFAX ガ アリマス] と表示され、バックライトが点滅します。 |
| **記録紙をセットする ➡ （上記の表示が出ているときに）**(決定) |

・途中でやめるとき：(停止)
・プリントした受信ファクスはメモリーから消えます。

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞17～18ページ）してください。

| すべての受信ファクスを消去するとき |
|---|
| (キャッチ/消去) ➡ (3 サ) (2 カ) |

**お知らせ**

●プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

# コピーする

## 等倍でコピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

**記録紙をセットする（☞19ページ）➡ 原稿をセットする（☞48ページ ❶ ～ ❸ ）➡ コピー/印刷**

- 画質を選ぶとき：画質/カナ（画質/カナ を押さなかったときは、自動的に [チイサナジ] でコピー）
- 途中でやめるとき：停止（コピーが中止され、記録紙と原稿が自動的に排出されます）

## 拡大／縮小／複数枚（マルチ）コピーする

拡大／縮小コピーや、同じ原稿の複数枚（マルチ）コピーなどができます。

**記録紙をセットする（☞19ページ）➡ 原稿をセットする（☞48ページ ❶ ～ ❸ ）➡ 登録 ➡ ⑥**

**① ：[カクダイ 1.4バイ]（約140%に拡大してコピー）**
**➡ ② ：[シュクショウ 0.8バイ]（約80%に縮小してコピー）** ➡ コピー/印刷
**③ ：[フクスウマイ コピー]（最大5枚、ダイヤルボタンで入力したあと 決定 ）**

- 途中でやめるとき：停止（コピーが中止され、記録紙と原稿が自動的に排出されます）／ 1つ前に戻るとき：キャッチ/消去
- コピー終了後、等倍に戻ります。

■ **コピーの途中で画質を切り替えるときは**

コピー中に 画質/カナ を押すと次のページから画質が切り替わります（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません）。

■ **原稿が詰まったときは（☞82ページ）**

■ **記録紙が詰まったときは（☞83ページ）**

## コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

**■ 法律で禁止されているもの**

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。
  たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
  （外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）
- 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。（郵便切手類模造等取締法）
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
  （印紙等模造取締法）

**■ コピー（複製）する場合に注意を要するもの**

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

**■ 著作権に注意するもの**

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

**お知らせ**

- 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- 通話中にコピーを始めることはできません。また、コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。